

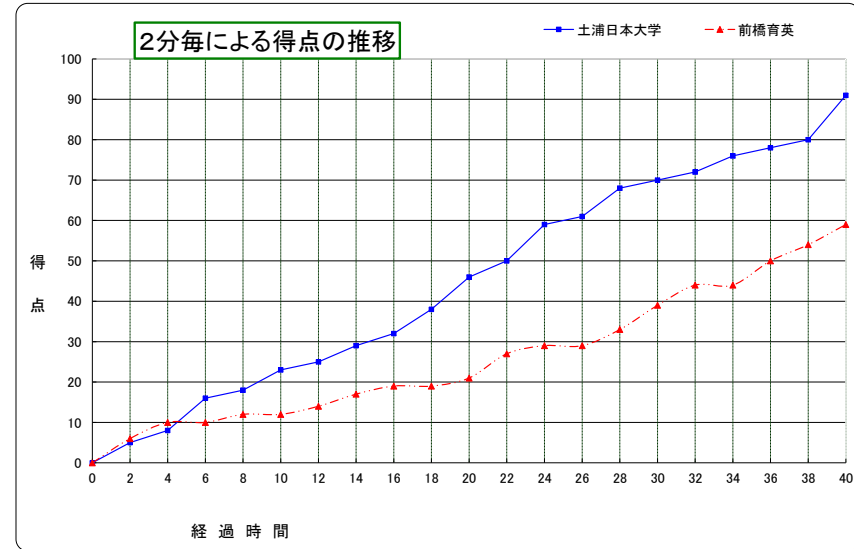
# 平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)  
春日部ウイングハット  
2回戦

チームA			チームB
土浦日本大学 (茨城)	91	{ 23 1st 12 23 2nd 9 24 3rd 18 21 4th 20 }	59 前橋育英 (群馬)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	高原 晨也	0													
5	吉田 崇紘	11	0	0	4	10	3	3	0	4	3	2	1	1	2
6	新山 航希	17	0	0	6	13	5	6	2	8	4	4	3	0	1
7	高橋 海	18	2	6	6	11	0	0	2	2	2	3	2	0	2
8	細割 駿佑	4	0	0	1	7	2	2	0	3	1	1	0	0	1
9	小針 裕弥	0													
10	山崎 凜	7	0	0	3	6	1	1	1	1	2	0	0	0	0
11	山本 純也	0	0	1	0	4	0	0	2	0	1	0	2	0	1
12	坂本 大悟	4	0	1	2	8	0	0	1	1	1	0	1	0	2
13	下山 武人	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
14	宮澤 亘	20	0	0	8	15	4	8	1	2	7	7	3	0	1
15	吉村 公汰	4	0	1	1	4	2	2	1	0	2	0	0	0	1
16	飯野 椋太	4	0	1	2	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0
17	佐藤 称央	2	0	0	0	0	2	2	0	2	1	0	0	0	0
18	白銀 剛人	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	佐藤 豊		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
		91	2	10	33	80	19	26	12	24	27	18	12	1	15
		確率	20.0%		41.3%		73.1%			計 51					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	相川 勇樹	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	3
5	黒岩 大和	10	0	0	5	6	0	0	1	0	3	2	0	0	1
6	大山 将平	6	0	4	3	7	0	0	0	0	2	0	2	0	3
7	瀧 稜太	4	0	0	2	5	0	0	2	3	3	0	0	0	8
8	榊原 彬士	14	2	5	3	3	2	2	4	0	1	2	0	0	3
9	樋口 楓	3	1	3	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1
10	長谷川武巳	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	柴多 慧	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	鈴木 海都	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	津久井洋暉	4	0	0	2	5	0	0	0	0	5	1	0	0	2
14	土田 昇平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	高橋 雅樹	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
16	村上 翼	2	0	1	1	3	0	0	2	0	0	1	0	0	2
17	近藤虎ノ介	6	0	2	3	6	0	0	4	0	6	1	3	0	5
18	萩原 健斗	6	0	0	3	6	0	0	3	1	7	1	0	2	3
コーチ	加賀谷 寿		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
		59	3	18	24	45	2	2	23	4	30	9	8	2	34
		確率	16.7%		53.3%		100.0%			計 34					



**戦評**

第1P、土浦日大はオールコート1-2-2ゾーンプレスから2-1-2のマッチアップゾーンディフェンス。前橋育英はマンツーマンで守る。序盤、高さに勝る土浦日大は#5のポストプレイを起点にオフェンスを組み立てる。対する前橋育英は速い展開から速攻・アウトサイドシュートで点を取る。激しくディフェンスでプレッシャーをかけたい前橋育英は3分たったところでチームファウルが5つになってしまい、土浦日大はフリースローを決め点数を伸ばす。前橋育英が土浦日大の激しいゾーンプレスに徐々にミスが出始め、ここで土浦日大は#14・#10の2p、#7の3pが連続で決まりたみかけ、一気に点差を広げる。

第2P、土浦日大はプレッシャーの激しいゾーンプレスディフェンスを継続し、前橋育英は自分たちのリズムでシュートを打つことが出来ない。一方、土浦日大は#14のドライブインやジャンプシュート、#6のゴール下などで確実に得点し更に点差を広げて前半終了。

第3P、前橋育英はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ#5が連続でジャンプシュートを決めるも、土浦日大はゴール下の#5・#14への合わせのパスや#5のリバウンドシュート、#14・#12・#6などのアウトサイドシュートとバランスよく得点を重ねていく。その後は前橋育英も#16・#13・#17のアウトサイドシュートや速攻で点を取るも点差は縮まらない。

第4P、土浦日大はメンバーを代えながらも激しいゾーンプレスで休むことなく守る。なんとか点数を取りたい前橋育英もメンバーを代えて積極的にシュートにいくがなかなか決まらず、点差が縮まらないまま試合終了。一試合を通して土浦日大が激しいゾーンプレスディフェンスをやり通した試合であった。

記入者: 高橋 努

Ref	伊橋隆浩	1st U	佐田幸一	2nd U
-----	------	-------	------	-------